

今年7月31日から8月1日にかけて、吹奏楽部は守山北・石部高等学校合同吹奏楽団として全国高等学校総合文化祭の吹奏楽部門に出場しました。吹奏楽部音楽監督である鳥濱敏昭先生の指揮で、大津市在住の作曲家・阿部勇一氏が湖国の歴史を思い作曲した「花火～心もしのに古おもほゆ～」と、滋賀県観光大使も務める西川貴教氏の「HOT LIMIT」の2曲を演奏しました。

全国総文は「文化部のインターハイ」と言われ、本校吹奏楽部にとっては初めての全国大会出場となりました。コンクールのシーズンと重なり合同練習の回数をあまり取れない中、生徒たちはSNSなどを駆使して互いに連絡を取り、「滋賀県らしさ」「石部らしさ・守北らしさ」を込めた演奏とパフォーマンスを作り上げました。講評の八木澤教司先生・川内優子先生からは「明るく素直なサウンド」「合同ですが、息ぴったり」と評価していただいたことを、とても嬉しく感じています。

会場となった佐賀市文化会館は音響の素晴らしいホールで、生徒たちは全国から集まった各県代表の演奏技術とパフォーマンスを肌で感じ、また現地での公式練習や交流会など得難い多くの経験をして、滋賀県に帰ってきてくれたことと思います。このような大きな舞台に立てたのも、保護者の皆様、そして本校教育振興会、石窓会、PTAの皆様の手厚い支援があったからこそと思っています。末筆になりましたが深く御礼申し上げ、今後の吹奏楽部の活動に変わらぬご理解・ご支援をいただきますようお願い申し上げます。



